

## 岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

平成 26 年 12 月 19 日改正  
(平成 27 年 1 月 1 日適用)

### ①第三者評価機関名

NPO 法人 りふ福祉サービス利用者センター びーすけっと
-------------------------------

### ②施設・事業所情報

名称：ナーシングケア加納	種別：特別養護老人ホーム
代表者氏名：中村 規子	定員（利用人数）：入所 80 名 短期入所 10 名
所在地： 岐阜市加納愛宕町 18 番地の 2	
TEL：058-214-6010	ホームページ：https://www.nursingcare-kanou.jp/
<b>【施設・事業所の概要】</b>	
開設年月日 平成 24 年 4 月 1 日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 和光会	
職員数	常勤職員： 48 名      非常勤職員 40 名
専門職員	（専門職の名称） 名
	医師 3 名      機能訓練指導員 2 名
	看護師（准看護師） 10 名      介護支援専門員 7 名
	社会福祉士 2 名      歯科衛生士 1 名
	介護福祉士 41 名
施設・設備の概要	（居室数）90 室 全室トイレ（有） 全室個室、洗面所設置
	（設備等） 食堂（各ユニット毎に設置）9 室 個別浴 5、車椅子浴 2、順送浴 1 医務室 1、共同トイレ 9

### ③理念・基本方針（※転載）

<p><b>理念</b> みんなを笑顔に。</p> <p>私たち和光会グループは、質の高い医療、福祉、保健、子育てサービスを提供し、ご利用者、ご家族、職員など関わる全ての方が、いきいきと安心して暮らせる地域社会の実現をめざします。</p> <p><b>基本方針</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人の尊厳</li> </ul> <p>一人ひとりの思いを大切にし、その人らしい人生を送ることができるよう支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・良質なサービスの追及</li> </ul> <p>常にご利用者の立場に立ったより良いサービスの提供をめざし、先進性を取り入れ、サービスの改善に積極的に取り組みます。</p>
---

・ 一体的な連携の推進

それぞれの専門職、事業所、あるいは地域が、ご利用者にとって1つのチームとして機能する連携をめざします。

・ 地域社会への貢献

公益性の高い事業を担う責務を自覚し、地域のさまざまな課題の解決を通じて、地域貢献に取り組めます。

・ 職員への支援

すべての職員を尊重し、能力を発揮しながら誇りを持って仕事ができるようにさまざまな支援をします。

④施設・事業所の特徴的な取組（※評価機関において記入）

建屋内には、住宅型有料老人ホーム、認知症通所介護、小規模多機能型居宅介護が併設されている。地域に開かれた広い地域交流スペースがあり、毎月、音楽療法や絵手紙教室、模擬喫茶等を開催し、地域の人や他サービス利用者と交流できる環境にある。また、地域包括支援センターやNPO法人と協力体制をつくり、認知症カフェやサロンの開催をめざし、地域福祉の拠点となる取組みに熱心である。

利用者の楽しみとなる行事やレク等について、行事委員会が中心となり日中の活動量を増やし、メリハリのある健康的な生活で利用者の心身機能の向上、維持に努めている。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	平成 29 年 8 月 1 日（契約日） ～ 平成 29 年 9 月 30 日（評価結果確定日）
受審回数(前回の受審時期)	回（平成 年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

J R岐阜駅に近く、交通アクセスや商店街への利便性が高い地域にあり、保育園や小中高校も周辺に点在し、交流活動や学生の実習施設としても広く受け入れている施設である。建屋には、短期入所生活介護、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、住宅型有料老人ホーム、訪問介護が併設されており、地域のニーズに合わせた多種の介護サービスを提供している。また、利用者家族や地域関係団体、行政関係者、地域住民等を招き、法人の各施設で日頃取組んでいる支援サービスの成果発表会を毎年開催し、職員の仕事へのモチベーションを高め、地域社会への貢献につなげている。

建屋の各種事業が共有する玄関やユニットケアフロアの入口には、良質な調度品が配置され、落ち着いた雰囲気環境づくりになっている。

ユニットケアの施設であり、全室個室でトイレが完備されており、右、左、前に支えバーが設置され、利用者のプライバシー保護と自立支援に配慮した作りとなっている。

法人組織として、キャリアパスの介護段位制度で、全ての職種の職員を対象に自らが必要な知識や技術を把握し、目標を立て、目標管理シートや人事考課、OJT評価も取り入れた職員一人ひとりの能力開発の取組で人材育成を確かなものに行っている。

法人グループに内部監査チームが組織されており、法人の統括リーダー以上の多職種で構成されたメンバーによる内部監査が定期的に行われ、常に福祉サービスの質の向上の追及に努めている。

サービス実施記録は電子媒体を使用し、法人内で記録の統一化が図られ情報の共有が速やかに行われ、PDCAサイクルが適切に機能している。

#### ◇改善を求められる点

ユニット内の貼物は、限られたボードのみとなっており、落ち着いた環境にはなっているが、来訪者向けの情報としては分かりづらく読みにくい感がある。家族等への周知を目的とした貼物の工夫が望まれる。

誤薬は事故記録に残し、職員間で注意を喚起されているが、徹底した誤薬防止をめざし、配薬の管理体制を見直されたい。

高齢化や重度化でますます医療依存度が高い利用者が多くなっている現状にある中で、医療体制の強化に必要な人材育成を課題とし、その取組みの推進は大いに評価できるが、他方、特養施設の生活の場としての機能と、ユニットケアを活かし、利用者一人ひとりに寄り添ったケアで、理念である「みんなを笑顔に」の施設であってほしい。

#### ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回の評価にあたって、当施設の強みや課題が明確になりました。

ご家族へ向けた情報の周知方法については、掲示板では文字が小さく読みづらいことや、高い位置に貼ってある物は利用者に分かりづらいこと等を助言いただきました。

またアンケートの中で、薬が正確に与薬されていないことがあったという、リスクマネジメント的な部分について再認識でき、これも改善課題としました。

今後、改善課題を中心に一層の努力を重ね、利用者、ご家族にとって、更に信頼される施設になれるよう取り組んでいきたい。

⑧ 第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。